

『絵本処方箋』(落合恵子 朝日新聞出版)※リクエスト
 『関係の法則』(マイケル・J.ロオジェ 講談社)『古書の来歴』(ジ
 ャラルディン・ブルックス ランダムハウス講談社)『居酒屋百名
 山』(太田和彦 新潮社)
 『日本人へ リーダー篇』(塩野七生 文春新書)『老いのかたち』
 (黒井千次 中公新書)
 『遠き面影 上下』(ロバート・ゴダード 講談社文庫)

文庫あれこれ◆文庫の花壇では、Fさんご夫妻丹精のバラ
 や様々な花々が咲いていました(きっと4,5日前だったら
 もっと美しかったです)。姫沙羅の小さな白い花が落ち
 てもっと地面を覆い隠しているかと思ったのですが、まだ
 木に蕾や花をしっかりとつけていました。この時期たわわに
 実るお隣のびわも心なしか小粒です。(17日)◆(ここから
 18日)昼から驟雨。あたりは霧の中のようにもやっています。
 好きな大室のひとつです。これであと、カラッと晴れ
 たら最高なのですが。◆雨が降り始める寸前、台所にあり
 を大量発見!甘いものなど落してない筈なのに!◆いつまで
 も、ここの虫たちと仲良くなれません。今晚あたり天井に
 大クモ発見、となりませんように。◆5月は9日間開けてい
 たのですが、その間に複数いらっしゃる会員はやはり少な
 かったですね。◆本は借りにきてくださるのに、おはなし
 を聴きにきてくださる方が少ないのが淋しいです。目で読
 む楽しさも素晴らしいですが、物語や昔話を耳と目から聴
 く楽しさも素晴らしいです。文庫生まれのおはなし・沙羅
 の面々もよい語り手に育っています。聴き手あってのおは
 なしなので、おいでをお待ちしています。◆来月7月18日
 (日)は「海の日のおはなし会」です。会場は、伊豆高原駅・
 大くすのきの下。今年10回を迎えます。2001年にはじめて、
 あっという間に10年が過ぎました。これがきっかけで
 沙羅の樹文庫もできました。どうぞ、物好きな人が勝手に
 やってるのね、と言わずに足をお運びください。今年は会
 員の子ども数人が語ります。お楽しみに!◆いっしょに「海」
 や「みかんの花咲く丘」をうたいましょう!◆雨は、霧雨 →
 しとしと雨 →ザンザン降りに変わっています。◆5月、
 語りのゲストで町田から来てくれた友人2人と、伊豆高原
 を散策しました。催し物をやっているお宅を回りながら、
 友人がどうしても行きたい <たませいぞう>さんの新
 しいアトリエが最終目的地。行く先々でお尋ねしながら
 いぶん迷いましたが、とても素晴らしい森林浴ができました。
 そして、伊豆高原は広くて深いなあ、これからは、大
 室を、伊豆高原を、もっと味わおうと思いました。◆ア
 ートフェスティバルは、飛び込みのお客様があるので、面白
 い。小牧さんもその一人。新座で草の実文庫を開いて30
 年。豊かな人生を描かれた自著を拝受。娘の友人のママ、
 江村さんは黄をふんだんに使って心が明るくなる絵を描
 く画家。そのうち、文庫のスタッフになりたいと、名残惜
 しそうに帰りました。◆文庫も来月いよいよ5年目に入
 ります。恐縮ですが更新をお願いいたします。(西村)

〰〰 これからの催し物のお知らせ 〰〰

♥文庫開館記念・子どもおはなし会♥

7月18日(日)10:30~11:45 (於:文庫)

★(海の日のおはなし会10周年)★

7月18日(日)16:30~19:00

(於:伊豆高原駅大クスノキの下)

☆今年、いつものベテラン語り手に加えて、かわいい文庫のお友だちのおはな

☆☆今後の開館スケジュール☆☆

◆7月は通常。17日(土)、18日(日)

◆8月は14日(土)~22日(日)

全日 午前10:00~午後3:00

◆9月、10月は通常の予定。

※文庫の時間:土曜日は午後2時~5時、日曜日は午前10時~午後3時

※毎月開館日の日曜には、「子どものための小さなおはなし会」があります。

午前10:30~11:00

♥文庫開館日は毎月、第3日曜とその前日の土曜日の2日です(従って第3土曜日でなく第2土曜日ということもあります)。

《楽しんで読み聞かせ・頑張っておはなし》

みんなで勉強会(おはなし・沙羅)

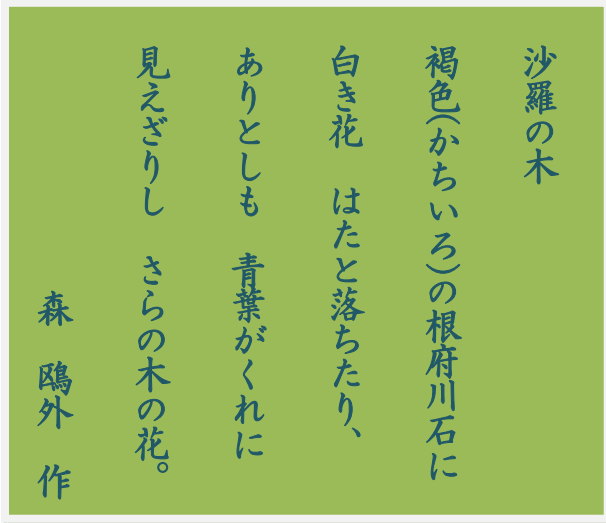
★7月はお休み。8月は21日(土)です。

連絡先:沙羅の樹文庫

電話 0557-51-8737

沙羅の樹文庫便り

No.46 (2010年6月号)



※根府川石とは、いつも通ってくる根府川付近に分布する溶岩(板状に採掘可)と初めて知りました。

おそい梅雨入りでした。沙羅の樹文庫の姫しゃらもまだ咲ききらなくて蕾が多いようです。暫くうっとうしい陽気が続きますが、暑くてもからっとした夏を迎えたいですね。



『いっぽのきらいなネコ』をよんで
秋吉 海帆(八幡野小1年)
くろねこのしっぽがきれいになって、し
ゃべりだしたので びっくりしました。

くろねこがねずみをつかまえようと
して まちがせしていると、じぶんのしっぽなのに パタパタと
おとをたててうごきたしたり、おしっこをするときに しっぽが
かかってにみぎとひだりにうごいて、くろねこがだいすきなしろい
ねこにおしっこをかけたりして いじわるばかりしていたけど、
ともだちのねこにしっぽをかみついてもらったら、いたくて
みっかみばんにもたべられなくて おなかですいたので、
こんどはねずみをつかまえるときにじゃましなかつたので、
くろねことしっぽがなかなかおりましたのでよかったです。

このほんはおもしろいので、ぜひよんでみてください。

(南部和也・ぶん いまきみち・え 福音館書店)

♥みほちゃん、すごくよかったです。字も上手でしたよ。ネコとし
っぽ、さいごになかよしになれてよかったね。いつもおにいちゃん
とたくさん本をかりてたくさんよんでみほちゃん、そして本のせ
いかいであそぶだけでなく、バレエやそのほかたくさんのこと
にちょうせんしているみほちゃん、たくさんたくさんたのしんで
ね! ♥

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

新しく入った本

子どもの本

『なんのかたち なつ』『なんのおと はる』『なんのおと なつ』
『おっかなびっくりしまうまくん』『せいかいはいったいだれのも
の?』『うちのこ みませんでした?』『ラン パン パン』『11
ぴきのねことあほうどり』『しょうがパンぼうや』『チムとゆうか
んなせんちょうさん』『チムひとりぼっち』『なつのいちにち』『ひ
・み・つ』『カムイチカブ』(以上絵本)
『小さな可能性』『12の怖い昔話』
『つづきの図書館』(柏葉幸子 講談社)(以上読み物)

大人の本 寄贈いただきました。

『徳川家康の詰めの将棋—大坂城包囲網』(阿部龍太郎)『イワナの
謎を追う』(石城謙吉)『信長と消えた家臣たち』(谷口充広)『整形
外科で治せない腰痛、ヘルニアを治す』(酒井和彦)『ストレッチ
ング』(猪崎恒博)『おいしい燻製づくり』(成美堂出版)『奇蹟の温泉』
(朝倉一善) 以上7冊※どなたでしたでしょうか?お知らせくださ
い。『謁見』『八丁堀の梶』(佐伯泰英)※小野さん(男性)『森』
という字を※小牧涼江さん。『カメラを持った男』(ネストール・
アルメンドロス)『歴史を変えた気候大変動』(ブライアン・フェイ
ガー)『DNAでたどる日本人10万年の旅』(崎谷満) ほか

『草原のサラ』のあらすじ

“Sarah, Plain and Tall” を読んで

パトリシア・マクラクラン著『のっぽのサラ』(金原瑞人訳)
『草原のサラ』(こだまともこ訳 徳間書店)

アメリカ中部カンザス州、19世紀末のおはなし。
農家に住む二人の姉弟 Anna 10歳と Caleb 6歳。
話は姉 Anna の視点で進んでいきます。
Caleb は繰り返して Anna にたずねます。

ママはどんな人だった?
よく歌を歌ってくれたわ。
僕は生れた時どんなだった?
変な顔をしてたわ。
ママが死んだのは僕のせい?

いいえ、違うわ Caleb。
ママは Caleb を産んで、次の日に
死んでしまいました。
パパはそれ以来、変わってしまいました。
歌も歌わなくなりました。

ある時、ママは新聞に花嫁の募集広告を出
した、と子供たちに伝えます。農家と子供たちを一人で世
話することが限界でした。
広告を見た女性から応募があります。
その女性 Sarah は Maine 州の海岸に漁師の兄と住んでいま
したが、兄が結婚するため、新しく住む場所が必要でした。
子供たちは新しいお母さんがやってくる、と期待に胸を膨
らませます。

汽車に乗って Sarah はやってきます。海のない大草原の農
家での生活を一か月間すごして、決めるのです。
素朴で明るく、また働き者の Sarah に、みんなすぐにひか
れます。そして、Sarah が故郷の海を恋しがり、Maine 州に
帰ってしまう事を心配します。Sarah は私たちとずっと一緒
にいてくれるかしら?

物語は易しい言葉を用いて構成され、やわらかい雰囲気
で進みますが、情景や描写は豊かに表現されています。
また、この時代のアメリカの農家の様子、自然災害に直面
する厳しい環境も描かれ、過酷な状況と向きあいながら、
家族や友人で助け合い、農場や動物たちを守る姿は人間の
生きる力を感じさせます。

Sarah の率直でテンポのよい言葉は心地がよく、Sarah の影
響を受け、いきいきとしてくる子供たちの様子は読者をも
楽しくさせます。そして子供たちと同様、Sarah がずっとこ
の一家といてくれる事を願うのですが・・・。

(Shino YAMAMOTO)

♥アメリカから寄稿してくれました。滞米中に原書で子
どもの本をたくさん読むそうです。子どもの本棚にあります
が、大人も癒されます。



最近お借りした本についての読後感 By 森林浴

『増補版 敗北を抱きしめて 下—第二次大戦後の日本人』
(ジョン・ダワー著 三浦陽一・高杉忠明訳 岩波書店)

『上』に引き続き、『下』では、天皇制民主主義、新憲法、東京裁
判、戦争責任論、東西冷戦と占領の終了、などがしっかりとし
た事実確認に基づいて展開されている。

日本の敗戦、連合諸国による占領処理に際して、最大の問題は
天皇の戦争責任と新日本における天皇制をどうするかとい
うことであった。結果的には天皇は「神」から「象徴」に変わって
「天皇制」は安泰に維持され、天皇の戦争責任はついに追及さ
れることはなかった。著者はそれを容赦せず、「裕仁はしたた
かだ適応力のある人物であり、天の助け—もっと具体的にい
えばマッカーサーの助けによって生き残り満ち足りた人生を送
った。」と記している。マッカーサーの方が天皇を日本統治の
ために必要としていたのである。

新憲法の成立過程の驚くべき事実—新憲法の原案・骨格はマ
ッカーサーの命令で GHQ(総司令部)の民政局内に招集され
た「憲法制定会議」のメンバーたる24人のアメリカ人が早朝か
ら真夜中まで缶詰になって1週間で作り上げた。日本側の旧
憲法の「修正」案は全面否定され、アメリカ人によって民主主
義と平和追求に立脚した史上例のない「理想主義的」憲法が
誕生することとなったのである。
10.05.07

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

新しく入った本

大人の本

『遍路みち』(津村節子 講談社)『きけ わだつみのこえ』(日本戦
没学生記念会 光文社)『永遠の故郷 夜』(吉田秀和 集英社)『台
湾人生』(文芸春秋)『駅路』(松本清張 新潮社)『つやのよる』(井
上荒野 新潮社)『ブギウギ』(坂東真砂子 角川書店)『暗闇の楽器』
(端子・ヒューストン 水声社)※ゴンクール賞 『史記1~3 武帝
記』(北方謙三 角川春樹事務所)『のけ者』(エマニュエル・ポー
ヴ 白水社)『MUSIC』(古川日出男 新潮社)『弱い神』(小川国男
講談社)『声色つかいの詩人たち』(榎本伸明 みすず書房)『下流
の宴』(林真理子 毎日新聞社)『パロール・ジュレと紙屑の都』(吉
田篤弘 角川書店)『寛永主従記』(田宮彦彦 明治書院)『春告鳥』
(杉本章子 文芸春秋)『三国志遺逸』(中村愿 安野光雅絵 山川出版
社)『天安門のパンドラ』(劉剛 扶桑社)『ラスト・チャイルド』(ジ
ョン・ハート 早川書房)『何処へ行くのか、この国は』(村田良平
ミネルヴァ書房)『光媒の花』(道尾秀介 集英社)→次ページに続く